

12

生徒参加型校舎建替のプロセスを創造教育の場に

サイン計画、外壁タイル製作にも参加
コンクリート打設を体験

奈良学園中学校・高等学校

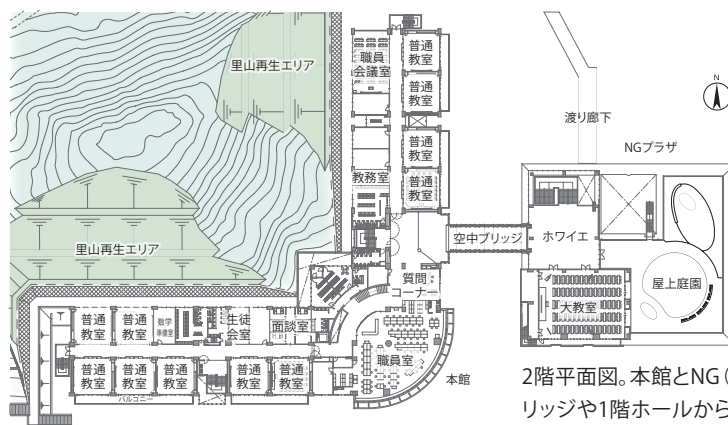
学科等/中高一貫・普通科 クラス数・生徒数/18クラス・653人 建築主/学校法人奈良学園
所在地/奈良県大和郡山市山田町430 工事種別/改築 敷地面積/119,678㎡ 延床面積/10,255㎡ 竣工/2010年2月

計画・整備のねらい

- 校舎建替えを教育の場として生かし、新校舎に愛着を持ってもらう
- 「スクールプロジェクト」と称する「生徒・教職員参加型校舎建て替え計画」を実施。設計・施工の約1000日間のプロセスで創意工夫を凝らしたさまざまなアイデアを出し合った



新校舎。山麓の緑豊かな環境に十分に配慮し、光と風と緑が常に感じられる自然共生型キャンパスを目指した。



2階平面図。本館とNG(奈良学園)プラザの空中ブリッジや1階ホールから2階ホワイエの大階段は生徒の発案。

計画段階

- プロセス 1 有志約25名の生徒たちが建設に関するさまざまなセミナーを受講
- 2 全校生徒にアンケートを実施し、既存校舎の問題点を把握
- 3 アンケートを踏まえ、新校舎の配置計画や平面計画を検討
- 4 文化祭で4チームに分かれて新校舎プランのプレゼンテーションを実施
- 5 教員と設計者で発表を吟味し、優れた提案を実際の設計に反映



新校舎の配置計画や平面計画の検討。教室や職員室等のユニットパーツを敷地模型上に配置していった。



文化祭でのプレゼンテーション。ここで出された新校舎案を踏まえた新校舎を設計。

施工段階

現場を見学。サイン計画や外壁タイルの製作、コンクリート打設等を体験。

■施設整備の工夫点

○ゆとりある学習・コミュニケーション環境



空中ブリッジで本館とNG(奈良学園)プラザを接続。

廊下。教室の廊下はゆったり幅を取り、語りの場として使えるように椅子を設置。さらに告知スペースやホワイトボードで壁面を有効利用。



コミュニティスペースを職員室に隣接。壁一面がホワイトボードで板書しながら問題解決ができる場に。



移動中もコミュニケーションが図れるよう、階段幅を広くして昇り降りの動線を分離。

○施工段階での取り組み



サイン計画。トイレのサインは染色体をモチーフとしたアカデミックなデザインに。

外壁タイル。エントランスの外壁スクラッチタイルはメッセージを刻み、自分たちで製作。

■教育効果のポイント

- 楽しみながら建て替え計画に参加することにより、自主性や創造性を養う良い機会になった。
- 新校舎への愛着が増した。
- コミュニケーション力やプレゼンテーション力の育成に大きな効果があった。
- 想像以上のキャンパスができたことで子供たちの表情が変わった。